

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年5月11日
【会社名】	東邦化学工業株式会社
【英訳名】	TOHO CHEMICAL INDUSTRY COMPANY, LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中崎 龍雄
【本店の所在の場所】	東京都中央区明石町6番4号
【電話番号】	03(5550)3737
【事務連絡者氏名】	常務取締役経理本部長 井上 豊
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区明石町6番4号
【電話番号】	03(5550)3735
【事務連絡者氏名】	常務取締役経理本部長 井上 豊
【縦覧に供する場所】	東邦化学工業株式会社大阪支店 (大阪市中央区南船場1丁目17番9号)
	東邦化学工業株式会社名古屋支店 (名古屋市中区錦1丁目10番27号)
	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 当該事象の発生年月日

平成30年4月26日（取締役会決議日）

2. 当該事象の内容

減損損失について

当社の連結子会社である東邦化学（上海）有限公司の2017年度業績は、売上高は、大幅な増収となりましたが、当初計画には僅かに届きませんでした。

それに対して、利益面は、昨年夏以降の基礎石化原料の国際市況の上昇に中国国内の特殊事情も加わり、主要原料価格が急高騰した結果、同社の利益率が悪化、当初計画で目指した通期での営業損益の大幅な改善、ならびに下半期の黒字化を達成できませんでした。

その結果、当社が所有する固定資産について減損の兆候が認められたことから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失を特別損失に計上するものであります。

関係会社出資金評価損について

当社の連結子会社である東邦化学（上海）有限公司は、上記の事情のとおり多額の減損損失を計上することとなり、その結果、同社の2017年12月末の純資産が当社の出資金の帳簿価格と比較して著しく低下していると認められることから、関係会社出資金評価損を特別損失に計上するものであります。

3. 当該事象の連結損益及び損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成30年3月期において、下記のとおり減損損失及び関係会社出資金評価損を特別損失として計上いたしました。なお、当該関係会社出資金評価損は、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

（連結決算）

減損損失 6億93百万円

（個別決算）

関係会社出資金評価損 12億68百万円

以上